

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋津孝久
幹事 野村紀代彦
会報委員長 横山宜幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2791回例会プログラム

[当年度=25回目; 当月=1週目]

2013年(平成25年)2月4日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/11) ……休 会 (法定休日)
(2/16) ……
西三河分区分インターシティ・ミーティング
15:00 ~ 衣浦グランドホテル
※2月18日(月)の例会変更分です。
(2/25) ……クラブフォーラム
(国際奉仕委員会)
卓話 「タイ・チェンライ (刈谷の森)
植林活動報告」
講師 国際奉仕委員長 廣根 実 会員
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「気仙沼報告 (地区補助金事業)」
ロータリー財団委員長
伊藤 節夫 会員
「地区出向者アワー」 吉原 孝彦 会員
(東日本大震災プロジェクト委員会)

16. 謝 辞
17. 点 鐘……〈会 長〉
18. 閉会宣言

13:30 19. 散 会

出席 席

会員総数 93名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
欠席 4名 出席率 95.51%
前々回(1/21)の修正出席率 100%

幹 事 報 告

- 1) 2/16衣浦グランドホテルで行われるインターシティミーティングは15:00開会です。電車で行かれる方は名鉄刈谷駅13:54発→北新川14:14、14:20シャトルバスの予定です。先日お配りした名札をお忘れないようお願いいたします。後日確認のFAXをさせていただきます。
- 2) 本日例会終了後60周年実行委員会を行いますので、ご関係の方は特別会議室へお集り下さい。

会長あいさつ

笑いの話 II

嶋津 孝久



先週は「よく笑う人はなぜ健康なのか？」という講演会へ行って来た話をしました。それで気の付いた話です。最近テレビによく出ている長寿4姉妹ですが、皆様もご存じだとは思いますが、98歳~88歳の元気なおばあちゃん達です。この方たちを見ていますと、いつも4人一緒にいて、その時には実によく笑っています。本当に何がこんなにおかしいのか？と思うくらいよく笑っています。この4姉妹の事をネットで探していたら、「人は一人でも泣く事はできるが、声をあげて笑う事は一人ではできない。」と書いて(1)

ている人がいました。そういわれてみると、喫茶店やレストランで、おばちゃん達の団体は大声で笑っています。男の団体はあまり見ることがありません。こんなところにも、男と女の平均寿命の差が出るのかも知れません。

また、長寿の方を見ていきますと、101歳で亡くなったプロスキーヤーの三浦敬三さんは、99歳の時にモンブランのヴァレブランシュ氷河からの滑降をしました。この方は、独自の食事法が有名ですが、「口開き運動（口を思いっきり開けて舌を出す）」を、1日150回を目安にやっていたそうです。三浦さんも普段の笑顔が素敵な方でしたが、先週お話しした、笑顔で脳を楽しいと感じさせているのだと思いました。

その他に、しいのみ学園理事長で、104歳の現役最年長の教育学者の昇地三郎さんが講演で語る十大健康法とは、

1. どんな時にも笑顔とユーモアを忘れない。
2. 食事は一口30回かむ
3. 朝は水タオルでさっぱり
4. 硬いマットで寝る
5. 棒体操で全身運動を習慣にする
6. 一口八丁 手八丁 足八丁
7. 感謝の心で祈る
8. 日記を書く
9. 語学講座を聴く
10. 新聞を読む

だそうです。

ここでも、1番目に笑顔がくるのが重要かと思います。

お 祝 い

2月の会員の誕生日…高野基弘、盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、加藤大志朗会員。

配偶者の誕生日…平野恵子（和一）、野村弘子（重彦）、加藤好子（恒治）、杉浦光子（芳一）、桂木美砂（正樹）、石川ふみ子（覚雄）、宮廻由美子（和正）、塙由美子（栄一）様。

2月度結婚記念日…鈴木光彦、竹内一郎、廣根実、橘典子、桂木正樹、馬場理好、市川裕大、松井秀仁会員。

2月度入会記念日…黒田義之、羽田育哉、神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久会員。

卓 話

「気仙沼報告（地区補助金事業）」

ロータリー財団委員長 伊藤 節夫 会員



初めて見て頂く映像ですが「3月11日」に撮影された膨大な映像の一部ですが、私たちが忘れてはならない、そして「将来への教訓」を得る原点となる記録であり失われた故郷、そして家族…被災地、あの日のことは、決してわすれてはならないと

(2)

思う。

3・11東日本大震災において、災害に遭われた、宮城県気仙沼市立階上小学校へ、復興支援に行ってきました。例会終了後、嶋津会長、野村幹事、下谷ロータリー財団副委員長と、私伊藤で、東海道新幹線で、東京まで、東京から東北新幹線で一ノ関へ、一ノ関から、気仙沼まで6時間30分の時間を費やす長旅でした。到着してまず感じたことは、1年半経った今でも、がれきの山が、あちこちに残されて、まだまだ整備されていない街、不謹慎ですが、いまだに、悪臭も漂っている状態でした。大震災の傷跡は大きいと痛感させられました。翌日、被災に遭われた階上小学校へ、気仙沼のロータリークラブの役員の方と一緒に、訪問させていただきました。

学校への支援物資として、ヘルメット、逆上がり補助板、プール廻りの人口芝、電子ピアノ等を寄贈してもらいました。2年生全員で、歌にダンスまた肩をもんでもらったり、大変楽しい歓迎会を開いて頂きました。電子ピアノは特に子供たちをはじめ、先生方にも、大変ご好評のようでした。災害に遭われ、両親、兄弟、姉妹を亡くされた子供たちや先生方も皆さんが前向きに頑張っている姿をみて、私たちが、逆に元気を頂きました。子供たちは、気仙沼からは、はるか、遠い刈谷より、心温まる、思がけない贈り物にビックリしていました。写真にもありますが、子供たちの表情は、明るく、くったくの笑顔、何もなかったかのように、無邪気に学校生活をおくっている姿をみながら、言葉では言い表せない、心の痛みを、それぞれが、かかえているだろうと思うと、胸が一杯になりました。子供たちは、学校で同じ痛みを、分かち合える友達、先生と、絆を深め、これからの人生をしっかりと、生きていくことでしょう。この支援物資が、子供たちの希望のひと時をすごす学校で、ほんのすこしですが、お手伝いができたと思います。

子供たちの喜びの姿を、ご支援頂いた皆様にご報告させていただきます。

地区出向者アワー

東日本大震災プロジェクト委員会

吉原 孝彦 会員



委員会の目的

- 被災地区からの支援要請情報を収集し、各クラブに発信する。
2520地区復興支援特別委員会
2530地区ロータリー財団委員会
- 2760地区内クラブの支援活動を報告して頂き、データベース化する。
- 相談があった場合、クラブと要請情報との橋渡しの手伝いをする。
- 委員会は原則3年間限定委員会とする。

2012～2013年度の委員会活動

- 支援要請情報および、支援報告の収集

- 2520地区復興支援委員会との会議及び視察（2012. 4）
- 名古屋栄 RC からの支援金100万円の橋渡し
 - 名古屋錦 RC 石井弘子氏の事業へ50万円
 - 安城 RC 石川博氏の事業へ50万円（RI 超我の奉仕賞受賞）